

富谷市公共交通グランドデザイン（案）パブリックコメントに対する考え方

番号	大項目	ページ	関連項目	意見の概要	市の考え方
1	第1章 交通の現状 と課題	36	(2)高齢化社会 を支える選択性 の高い交通体系 の実現	アンケートではP36のように何の条件も示さず、本数も増え快適な乗り物があったら利用しますかと聞かれれば、「利用したい」という風にこたえる人が多くなるのは、当然です。しかしながら、実際に運行した場合、今現在、バスや地下鉄を使って仙台駅に出る運賃よりも相当数値上がりすることも考えられるため、車からの転換がどれだけ期待できるかはかなり細かい需要予測をしないと計られないと思います。	需要予測に関しては、宮城県と仙台市において実施中の「第5回仙台都市圏パーソントリップ調査」における交通実態の分析結果などを踏まえ、本市の発展に更なる寄与する公共交通のあり方について、引き続き検討してまいります。
2	第2章 目指す将来 像	40・41	2-3将来の都市 構造	今般のグランドデザイン案での都市主軸を背骨とし、それらを拠点化し、他地区からのアクセスを図るといった交通再編計画案は理を得たものであり、実際、現在も毎日のように主軸となる地区において朝の通勤通学時にバスに乗り切れない乗客が多々発生している事案が見られることから、緊急に対処すべき問題と思われれます。	ご意見のありました事案も含めて、本市と泉中央駅区間との慢性的な交通渋滞は最重点課題でありますので、本市のみならず、仙台市とも意見交換しながら、交通事業者や周辺自治体と共に課題を共有し、交通ネットワークの整備に向け連携を図り、引き続き調査研究を進めていきたいと考えております。
3	第3章 将来像実現 に向けて取 り組む施策	43	1. 幹線交通の強 化	P43にある「新たな軸となる公共交通の導入」として、どのようなものを想定しているかが、問題です。例えばLRTの導入であれば、現在の道路状況では泉中央までのアクセスにおいて、さらなる渋滞を招くことは必須となります。	基幹交通の導入について、過年度調査において、「地下鉄や小型地下鉄が優位」との提案を受けておりますが、需要予測や事業の採算性等を見極めながら、仙台市を含む周辺自治体や交通事業者の意見を伺い、実現可能性について調査検証を進め、中長期的な視点で検討を進めてまいります。
4	第3章 将来像実現 に向けて取 り組む施策	45	施策① 新たな軸となる 基幹公共交通の 整備	都市主軸において新たな公共交通を導入するにあたって、神奈川とかですでに運行しているBRT(連結バス)の導入をご検討願えればと思います。LRTと比べて軌道のどの設備が要りませんし、維持経費もあまりかかりません。バスの手配と運転手の育成さえ伴えば、早めに導入することも可能です。	ご提案のありましたBRTについては、基幹交通の一つとして先事例を参考としながら、総合的な観点の中で導入の可能性を検討してまいります。 なお、グランドデザイン(案)に示しました各施策の取り組みの進捗状況についても、今後、公表してまいりたいと考えております。